



# ミニパネル展 in ホテル竹島

日中戦争の頃（昭和12年～18年）、陸軍歩兵隊として中国大陸に渡った大場栄（蒲郡出身）は、妻・峯子と1000通にも及ぶラブレターを交わしました。

その中に何度も出てくるキーワードの一つが「蒲郡海岸」。二人が初めてのデートで沖の白帆を数えた楽しい日を忘れず、平和な日を切望していました。戦争で離れ離れに暮らすことを余儀なくされた時代、若い二人のロマンチックなやりとりから皆さんは何を感じ取られるでしょうか。



現在も竹島はデートスポット

竹島の見える場所で、「蒲郡海岸」と書かれたお手紙の抜粋を展示します。

「パワースポット竹島 ミニパネル展」

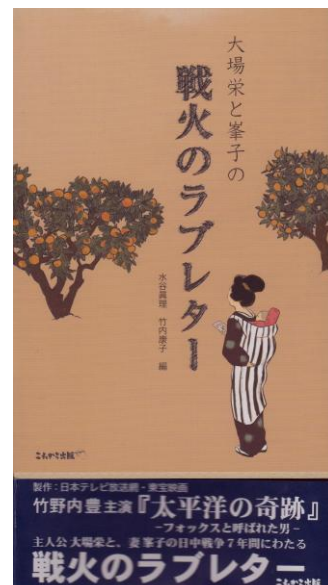
2月1日（水）～28日（火） ホテル竹島エントランスロビー

その後、太平洋戦争で南方に向かった栄は、玉砕の島サイパンで、アメリカ兵から「敵ながら天晴れ」と崇められる活躍をし、映画のモデルにもなりました。「太平洋の奇跡～フォックスと呼ばれた男～」（竹之内豊主演）



大場栄がモデルとなったサイパンの日本兵の映画は「太平洋の奇跡」  
峯子と交わした膨大なお手紙が残っていたのは、「蒲郡の奇跡」  
何度も死神に出会うような戦地でも命を救われ、奇跡の生還を果たした  
栄は、幸運の女神さまに愛されていたようです。  
それは、竹島海岸でデートしたからでしょうか？

合わせて読みたい「大場栄と峯子の 戦火のラブレター」



大場栄と峯子の 戦火のラブレター

<http://obaloveletter.blog.shinobi.jp/>

「大場書簡を読み解く会」

